

GSJ 地球をよく知り、地球と共生する 地質ニュース

2023

4

Vol.12 No.4



4月号

-
- 99 **海底面下を透視する技術を開発—深海の埋在性底生生物の現場観測に世界で初めて成功—**
水野勝紀・野牧秀隆・CHEN Chong・清家弘治
-
- 103 **国の内外でパワフルな活躍をされた地質調査所時代の大先輩，平山次郎氏の生涯と業績（前編）**
徳橋秀一・柳沢幸夫
-
- 112 **経済産業省こどもデー出展報告「地盤の揺れる様子と液化化を目の前で見よう」**
金子翔平・宍倉正展・兼子尚知・宮地良典・落唯史・今西和俊・金子雅紀・石塚吉浩
-
- 114 **「地質情報展 2022 とうきょう—都心の地下を探る—」開催報告** 金子翔平・遠山知亜紀・宍倉正展・宮下由香里・利光誠一
-
- 120 **産技連 知的基盤部会 地質地盤情報分科会 令和4年度講演会「斜面災害低減に向けた地質地盤情報の利活用」開催報告**
野々垣進・小松原純子・納谷友規・宮地良典
-
- 124 **書籍紹介 「フィールドマニュアル 図説 堆積構造の世界」**
-

地質標本館 特別展

5月10日は
地質の日

地中熱

あなたの足元に再生可能エネルギー



2023年

4月25日^火

~ 9月3日^日 入場無料

地下の安定した温度を利用して、夏は涼しく、冬は暖かな環境づくりの手助けをしてくれるのが「地中熱」です。地域ごとの特性を活かすこれからの再エネ技術と、その利用に適した地域を示す研究をご紹介します。

開催場所：地質標本館 1階ホール

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：毎週月曜日（休日の場合は翌平日）

協力：

株式会社福島地下開発、ジオシステム株式会社、
福島県地中熱協同組合、郡山市、
産総研エネルギー・環境領域（所内連携）

後援：

特定非営利活動法人
地中熱利用促進協会、
国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

地質調査総合センター



GEOLOGICAL MUSEUM

地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
TEL：029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>



5月10日は
地質の日



5月10日を中心に全国でイベント開催

地質の日事業推進委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター
TEL : 029-861-3540 E-mail : geologyday-jimu-ml@aist.go.jp
Web : <https://www.gsj.jp/geologyday/>

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、(一社)日本鉱物科学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本第四紀学会、日本情報地質学会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、神奈川県立生命の星・地球博物館、(国研)産業技術総合研究所、日本科学未来館、(地独)道総研エネルギー・環境・地質研究所、(公社)東京地学協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO 法人)日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 (順不同：2023年2月現在)

撮影地：千葉県屏風ヶ浦 題字：高橋須葉

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 小松原純子
委員 竹原孝
児玉信介
戸崎裕貴
草野有紀
宇都宮正志
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 12 巻 第 4 号
令和 5 年 4 月 15 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
TOSAKI Yuki
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 12 No. 4
April 15, 2023

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

航空機から見た北海道東部, 白糠町の石炭岬と庶路川東方の浜堤列平野 [cover photo](#)



北海道東部, 白糠町の石炭岬(写真中央)にあった白糠炭田は, この地域における最古の炭砒である. 安政四年(1857年)の函館港開港時に, 外国船への燃料供給のために江戸幕府によって開発されたことが知られている. この岬を構成している地質は, 中期始新世の浅海~河川成層とされる浦幌層群である. 一方, 石炭岬の東方(写真右下)には阿寒富士に源を発する庶路川が流れ, 太平洋に流入している. 庶路川から東方の新釧路川までの海岸低地には後期完新世に形成されたと推定されている10列の浜堤列が認められ, 釧路湿原の成立に深く関わっていたことが示唆されている.

(写真・文:七山 太 産総研地質調査総合センター 地質情報基盤センター/
ふじのくに地球環境史ミュージアム)

Cape Sekitanmisaki in Shiranuka Town and the late Holocene strand plain in eastward of the Shoro River taken from an airplane.
Photo and caption by NANAYAMA Futoshi